

報告日 令和6年6月28日
報告回数 1日目

令和6年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	門真市			代表者名	宮本 一孝
担当者部署(属性)	情シス担当	担当者部署名	企画財政部ICT推進課	連絡先電話番号	06-6902-5793
担当者役職	課長補佐	担当者氏名	大中 伸彦	連絡先E-mail	
住所	571-8585 大阪府門真市中町1番1号				

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

団体名		連絡先部署	
担当者氏名		連絡先電話番号	
		連絡先E-mail	

1-3. 支援を求める内容

支援方法	具体的課題への支援	事業名	テレワーク推進事業、DX関連事業
概要	コロナ禍を契機として導入したテレワーク制度について、今後システムの更改を行うに当たりより良い制度とするための技術的なご助言をいただくとともに、デジタル田園都市国家構想交付金活用事業に対する外部評価や課長級職員に対する自治体フロントヤード改革とDX推進についての研修を実施していただくもの。		
支援を求める分野	人材（DX推進のための機運の醸成） 人材（DXに関する知識習得・研修・育成） 働き方 テレワーク		

2. 地域情報化アドバイザー派遣実績

2-1. 対応日・時間	期日・支援内容の変更あり	受付番号	変更後の派遣日	変更後に実施した支援内容	実地/オンライン
	無				
	派遣日予定日（申請書より）	支援内容（申請書より）	開始時刻		
	令和6年6月26日	支援・助言	10時00分	12時00分	
				活動時間（分）	120

3. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	高橋 邦夫
評価	大変よい
上記評価の理由（どのようなところがよかったか等詳細に）	〔テレワーク推進事業〕 事業の現状や課題、それに対する見直し案の説明に対し、幅広い知見から丁寧にご助言、ご指導を頂けた。 〔DX関連事業〕 本市のDX推進状況の報告に対し、一定の評価を頂くとともに今後の進め方のポイント等、適切な助言を頂けた。また、DX人材育成に対する研修の事前調整については、研修内容に対する要望を丁寧にお聞き頂くことで、共通認識を持つことができた。
アドバイザーへの要望事項	本市DX推進に向けて、先進事例や具体的な取組等を紹介いただく等、引き続きご指導・ご助言頂きたい。

4. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

4-1. 支援を受けた対象者	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】		合計人数	4人	
	属性	自治体職員	住民	企業・団体	その他(学生など)
	人数	4	0	0	0

4-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果

事業の課題・問題点（具体的にご記入下さい）	〔テレワーク推進事業〕 新型コロナ禍を契機として、テレワーク制度・システムを導入したが、現在の運用では主として在宅勤務での利用が想定されており、出張先での利用は前提となっていない、自席パソコンの起動が必要となる等の理由から、利用率は高くない。 〔DX関連事業〕 市全体のDXを推進するにあたり、窓口部門を含めた各所属において、いかにDX推進への理解や意識醸成を行うかが課題である。
支援により目指す成果（具体的にご記入下さい）	〔テレワーク推進事業〕 在宅勤務以外でも手軽に利用可能なテレワーク環境を構築することで、出張時等における効率的な働き方の実現や災害時における安定的な行政サービスの提供を行えるようにしたい。 〔DX関連事業〕 市全体のDX推進に対する理解が深まることで、業務や行政サービスの改善意識を醸成するとともに、効率的かつ利便性の高い行政サービスを提供することにつながる。また、DX関連事業の実施に関し、適切にフォローアップでき、随時見直しながらより効果的なDX推進につなげられるようにする。

アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい)	〔テレワーク推進事業〕本市テレワークの現状と課題、事業の見直し案等を説明したところ、アドバイザーから方向性について一定の評価をいただくとともに、新たな課題やそれに対するご助言を頂いた。 〔DX関連事業〕DX推進の取組に対して、評価頂くとともに今後の取組に対しご助言を頂いた。第2日目、第3日目に予定している管理職(課長級職員)向けDX推進人材育成研修に対する市の趣旨や目的を説明し、アドバイザーからは研修内容の骨子や市の目的を反映した内容とする旨の説明を受けた。	
支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	〔テレワーク推進事業〕方向性について一定の評価を得たことから、次回以降、進捗を報告し、ご指導・ご助言を頂きながら進めていく。 〔DX関連事業〕管理職向けDX推進人材育成研修の趣旨や目的を共有できたことから、当日の開催に向けて引き続き調整していく。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	③現段階では課題・問題が残っているため未定
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	〔テレワーク推進事業〕検討の方向性は確認いただいたものの、課題解決は市として検討を進める必要がある。 〔DX推進事業〕管理職向けDX推進人材育成研修の実施後に、各所属がどこまでDX推進に取り組むか注視する必要がある。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。) アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。	
4-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	③現段階では課題・問題が残っているため未定
4-4. 事業の最終的な目指す姿	〔テレワーク推進事業〕庁内でテレワークの活用が珍しくなく当たり前に行われる状態 〔DX推進事業〕DXに関する研修などを通じ各所属で自律的主体的にDXに取り組める状態	

5. 報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

掲載許可 掲載可

<https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past-year-all-houkoku/>

なおくその他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG)」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

